

区分・種別	天然記念物		
名 称	はちまんじんじゃ いぶき 八幡神社のイブキ		
所 在 地	宇和島市伊吹町		
所 有 者	八幡神社	管 理 団 体	
指定年月日	昭和18年2月19日		
解 説	八幡神社の社殿前に左右に並んでいる2本のイブキである。いずれも雌株の巨木で、葉は針状と鱗片状とが混合している。 向かって右側のイブキは根回り6m、目通り4.35m、樹高は25mあり、地上4mの所から3本の太枝に分かれている。左側のイブキは根回り5m、目通り3.65m、樹高は23mであり、下半部に朽ちた部分が見られる。いずれも長大な枝張りを誇っている。 樹齢は約800年ともいわれ、長寿のこの2本の木にあやかって祭礼行事や結婚式も多いという。また伊吹町の町名もこの木に由来している。 この種のイブキ（ヒノキ科）は「ビャクシン」とも呼ばれ、伊予路では海岸にも多く自生している。		

